

府中市道路等包括管理事業（全域 2 期）受注候補者選定に伴う
公募型プロポーザル提案書 採点評価基準

1 提案者を選定するための評価基準表

評価項目	評価の視点
① 経営規模	企業又は団体の規模等が、今回の業務を行うにあたって 適当か
② 業務遂行力	業務遂行体制は十分か ※配置予定の技術者（統括責任者、副統括責任者）及び保 有資格、府中市又は府中市以外の類似業務実績の有無 ※本業務遂行に必要な人員の確保及び体制
③ 地域貢献度	次のいずれかに該当
	ア 府中市内に本店又は支店がある
	イ 多摩地区に本店又は支店がある
	ウ 東京都内に本店又は支店がある
④ 経験・当該業務の運営 能力	次のいずれかに該当
	ア 今回の業務に活かせる府中市発注の類似業務及び府中 市以外の行政等（民間含む）の類似業務のいずれも実績 がある
	イ 今回の業務に活かせる府中市発注の類似業務の実績が ある
	ウ 今回の業務に活かせる府中市以外の行政等（民間含 む）の類似業務実績がある

2 採点基準

(1) ①

企業又は団体の構成内訳（建 設、造園、清掃）で評価する。	3 業種揃っている	3 業種揃っていない
---------------------------------	-----------	------------

※企業または団体が有している業種で評価する。

(2) ②

配置予定技術者の保有資格	有		無
配置予定技術者の類似業務の実績	府中市での 類似実績有	府中市以外 での類似実 績有	類似実績無
人員の確保及び体制	3 人以上	2 人	1 人以下

(3) ③

会社の所在地	府中市内に本店又は支店がある	多摩地区に本店又は支店がある	東京都内に本店又は支店がある
--------	----------------	----------------	----------------

※構成企業ごとに配点し、JVの合計点から企業数で割る。

(4) ④

会社の類似業務の実績	今回の業務に活かせる府中市発注の類似業務及び府中市以外の行政等（民間含む）の類似業務のいずれも実績がある	今回の業務に活かせる府中市発注の類似業務の実績がある	今回の業務に活かせる府中市以外の行政等（民間含む）の類似業務実績がある
------------	--	----------------------------	-------------------------------------

(5) 二次審査への参加資格

ア 「2 採点基準(2)」の審査の結果、(2)②は「類似実績無」及び「1人以下」と評価された場合、二次審査に進むことはできない。

イ アの審査基準を満たし、かつ(3)及び(4)の審査水準を満たした参加者について、事務局（都市整備部道路課インフラマネジメント担当）は、指名委員会（契約課）へ付議依頼する。

ウ 指名委員会の審議を経て承認を得た参加者は、二次審査資料を提出することができる。

※参照：府中市プロポーザル方式ガイドライン（総務管理部契約課 令和4年4月改定）第11及び第12

3 受注候補者を選定するための評価基準表【基礎評価】

評価項目		評価の視点
① 本事業への取組方針	本事業の理解と取組方針 ※ ¹	本事業の主旨は把握しているか (性能発注、予防保全型管理、官民連携)
② 本事業の実施体制	ア 業務担当者の経歴と実績※ ²	担当者の本業務に類似する経験又は類似する各業務の経験は十分か (経験業務内容や経験年数)
	イ 継続的な運営を可能とする体制	継続的運営体制を維持できるか (有事の際に交代できる体制か)
③ 見積金額	維持管理経費の縮減 ※委託料上限額を超える又は委託料上限額の60%未満は、審査を終了する	実効性の認められる適切な価格設定であり、かつ委託料上限額の範囲内で必要最少限に抑えられているか
(総価契約) ④ 各業務の実施計画※ ³	ア 統括マネジメント業務	効率的で効果的な計画となっているか
	イ 巡回業務	
	ウ 事故対応業務	
	エ 災害対応業務	
	オ コールセンター業務	
	カ 要望相談対応業務	
	キ 補修・修繕業務	
	ク 道路反射鏡・案内標識・街区表示板管理業務	
	ケ 植栽管理業務	
	コ 害獣・害虫対応業務	
	サ 法定外公共物・水路管理業務	
	シ 清掃業務	
	ス 占用物件管理業務	

(注記) コールセンター業務の南西地区・北西地区は、東地区からの連絡受入体制を評価する。

4 採点基準

(1) ①～②、④

優	可	劣 (未記載・要求水準以下)
---	---	-------------------

(注記) 市が特に評価する内容のため、「※¹」は配点を採点基準の2倍、「※²」は配点を採点基準の3倍に設定している。

「※³」は全域2期における基本方針を鑑み、「植栽管理業務」の配点を採点基準の6倍、「巡回業務」「補修・修繕業務」「清掃業務」の配点を採点基準の3倍、「統括マネジメント業務」「コールセンター業務」「要望相談対応業務」「法定外公共物・水路管理業務」「占用物件管理業務」の配点を採点基準の2倍に設定している。

(2) ③ (総価契約)

見積金額 と委託料 上限額と の比率	秀	優	良	可	—	選定終了
	60%以上 75%未満	75%以上 80%未満	80%以上 85%未満	85%以上 委託料 上限額 未満	委託料 上限額	60%未満 委託料 上限額 以上

(注記) 府中市契約事務規則30条において、工事若しくは製造以外の請負契約については、10分の8から10分の6の範囲で最低制限価格を適正に定めるとあるため、消費税及び地方消費税を含めて60%未満は選定終了とする。

(3) 受注候補者の評価結果について

提出された提案書が「4 採点基準(1)」の審査の結果、「劣」と評価された参加者は、受注候補者及び次点の受注候補者として選定することはできないものとする。

また、府中市プロポーザル方式ガイドライン第16条第1項に基づき通知する不採用理由及び選定結果の公表(市ホームページ)は「二次審査の結果、市の提示した要求水準書の要求水準等に満たしていない」こととする。

なお、「劣」と評価された参加者の提案書については、選定委員が行う評価依頼は行わないものとする。

5 受注候補者を選定するための取組方針【選定委員評価】

評価項目	評価の視点
方針1 本事業の取組	複数年度契約、包括委託、性能発注であることを活かした計画的な提案となっているか
方針2 管理運営の取組	デジタル技術を活用するなど、市と受注者との情報共有の方法を工夫した提案となっているか
方針3 各業務の取組	コストを最適化し、中長期的に持続可能な管理を行い、質の高い市民サービスを提供する提案となっているか
取組方針に対する提案者のアピールポイント	事業者間での連携や民間企業ならではの知識・経験を活かした提案となっているか

6 特定テーマの評価基準表【選定委員評価】

評価項目	評価の視点
① 市民サービスの向上	取組方法と実施計画が、具体的で効果的な提案となっているか
② 経費削減に関する創意工夫	様々な媒体の活用による業務の効率化、作業の兼務化、取組方法と想定される削減効果が具体的な提案となっているか
③ 災害時等の体制	台風や地震などの災害時を想定した具体的な体制となっているか
④ 年間を通した良好な沿道景観の維持	市民からの要望相談件数が減少するような具体的で効果的な提案となっているか
⑤ 市内事業者の参画	適切な技術力・執行能力を有した企業により構成された団体等であり、市内事業者が適切な割合で参画しているか
⑥ 市内事業者等の再委託事業者としての活用	具体的な活用方法の提案となっているか
⑦ 府中市道路等包括管理事業への市内事業者の参画を促す取組	意見交換会の開催や維持管理のための要求水準に関する市との継続調整等、具体的で効果的な提案となっているか
⑧ 地域活性化への取組や地域活動等への協力等	「府中まちなかきさら」や地元商工会等との連携、市が主催・共催等をするイベントや祭り等への協力、豪雨、降雪時等の子供や高齢者の見守り活動等への具体的な取組提案となっているか
⑨ 特定テーマへの取組における提案者のアピールポイント	特定テーマについて、特にアピールする具体的な取組提案はあるか

7 評価の合計

評価項目	備考
本業務の取組評価	本業務の取組評価の計
特定テーマの評価	特定テーマの評価の計

8 採点基準

特に良い	良い	普通	やや劣る	劣る	評価対象外
------	----	----	------	----	-------

9 受注候補者の評価結果

各評価項目において「4 採点基準」の「評価対象外」と評価された項目が1項目以上ある参加者は、受注候補者及び次点の受注候補者に選定できないものとする。

また、府中市プロポーザル方式ガイドライン第16条第1項に基づき、不採用理由は「二次審査の結果、市の提示した要求水準書の要求水準等に満たない」こととする。